

—あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ—



2024

第78号

2月21日

# とめ 市議会だより

一般社団法人とめ青年会議所

## 登米市子供議会



### 目次

登米市建設計画の変更 .....	2
12月定期議会 .....	4
一般質問 .....	6
委員会報告 .....	11

登米市子供議会2023に  
参加した子供議員

# — 中心市街地 はどうなっていくのか? —



2019年 (出典: GoogleEarth)



1975年頃 (出典: 国土地理院)

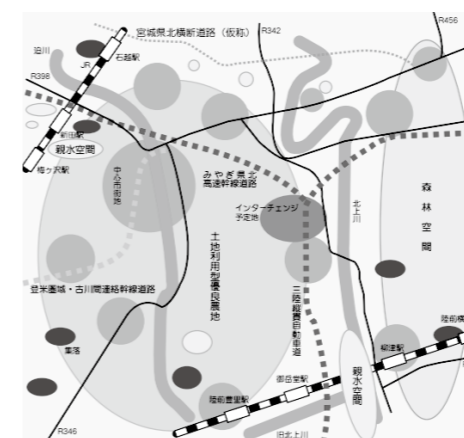
## どうなっている? 改めて解説! 登米市建設計画・立地適正化計画

### 登米市建設計画とは?

合併特例債を活用して合併後の新市を建設していくための基本方針を定めた計画です。

新しい未来を描くランドデザインとして、市町村の合併の特例に関する法律の規定に基づき、平成16年6月に策定されました。

東日本大震災により合併特例債の発行期限が延長され、活用期限が令和12年度になったことから、建設計画の期間を延長するなど、今回2度目の変更を行いました。



### 【立地適正化計画】

平成26年度、国は人口減少に伴う都市機能維持を目的として、都市再生特別措置法を改正し、コンパクトなまちづくりに取り組むために、立地適正化計画に関する制度を創設しました。

20年先、30年先を見据えたとき、人口減少や高齢化が進む社会では、現在の住民生活の維持が困難になっていくとして、地域の拠点を再整備することで将来にわたって行政サービスを維持し、住民生活を守っていくことを実現するための手段として、コンパクトシティプラスネットワークを実現することが重要となります。

国は、各自治体が将来を見据えたコンパクトで持続可能なまちづくりに取り組み、計画を進めていく事を推奨しており、整備に向けた支援策や条件等を明示しています。

本市においては、その中心拠点として「(仮称)地域交流センター」の整備を進めています。

※ (仮称) 地域交流センターを含めた中心市街地の検討については、前号から特集レポートを掲載中。今回は P.14 に掲載。

## 12月議会、登米市建設計画の変更についての論点

議案第137号「登米市建設計画の変更」の内容

合併特例債を最大限に活用することを目的とし、登米市建設計画の計画期間を合併特例債の活用期限である令和12年度まで延長するとともに、対応する財政計画も変更する。

今回の変更により学校再編整備関連事業、米山地区の公共施設複合化整備事業、(仮称)地域交流センター整備事業など、今後予定される27事業に合併特例債を活用していく。

議論の対象となった一文(原案)

特に、中心市街地においては、市民交流施設に行政機能を付帯させた多機能型複合施設の整備を進め、中心市街地の活性化に取り組みます。

### 修正動議2件の内容とその質疑応答

#### 修正動議 1

まだ議会での議論や市民理解が不足している段階であり、中心市街地における「市民交流施設に行政機能を付帯させた多機能型複合施設整備(地域交流センター)を進め」の文言を削除すべき。

熊谷康信議員他 4 名

#### 解説

合併特例債にこだわらず(予算ありきではなく)、中心拠点施設や建設場所を含めて更に協議していくべきとする考え。

Q 動議の内容の通りだとすると、立地適正化計画における中心部分の計画が無くなるということになるがどうか。

A この部分の文言を削除しても前後の文章からは十分読み取れる。現状で中心に設ける施設を具体化すべきでないという考えだ。

Q 今回の提案は、これまで議会で議論してきたことを無に帰してしまう。具体的な施設整備計画がなければ計画は進まないと考えがどうか。

A 明記することで施設整備を前提としたものになってしまう。私としては整備計画の推進合意が未だ不完全であるという認識だ。

#### 修正動議 2

「市庁舎・交流センター、図書館などの一体的な整備」と修正すべき。今回整備するのは本庁機能を集約させた市庁舎の役割を果たす施設で、市民生活の中心的機能を持ち、付帯ではない。

永島順子議員他 4 名

#### 解説

計画推進には合意するが、本計画は本市の中心となる施設であり、庁舎が中心となるべきであり、「行政機能を付帯させる」の表現には強い違和感を覚えることから文言の訂正を求めたいとする考え。

Q 例え庁舎という文言がなくても、内容からは庁舎も含まれていることは理解できる。むしろ庁舎という言葉が前面に出さないことで、硬い言い方を避けた望ましい表現と思うがどうか。

A 今回の施設整備は庁舎であり、市民に混乱を招く。より分かりやすい表現とすべきと考える。

Q 庁舎建設という文言が市長から語られていない中で、どうして庁舎という言葉が出てくるのか。

A これまでの執行部説明では、中田、南方の行政機能を集約するという内容だ。それは庁舎そのものであり、計画にはその庁舎という言葉を入れ明確にすべきという考えだ。

— 討論では2名の原案賛成討論があり、採決の結果執行部提案が原案通りに可決された。 —

# ズームアップ

## 12月定期議会で話し合ったこと

令和5年定例会12月定期議会は12月6日～22日までの17日間開会され、議案35件を審議し、すべて原案の通り可決しました。

### ■ 補正予算

\* 議案第129号令和5年度一般会計補正予算（第8号）から議案第135号令和5年度登米市老人保健施設事業会計補正予算（第3号）



一般会計では、歳入歳出それぞれ8億1701万円を追加し、予算の総額を859億4095万円としました。

また、病院事業会計補正予算では、医療情報システム導入事業として豊里病院に電子カルテシステム導入し、操作研修や運用基盤整備に係る費用として3億9243万円を債務負担行為として認めました。  
主な補正内容は下記のとおりです。

#### ・登米市燃料券事業

エネルギーや食料品価格等の物価高騰にともなう支援として、全市民を対象に一人3000円の灯油・軽油・ガソリンの購入に使用出来る「燃料券」を発行するもの（2億5145万円）

#### ・公共施設複合化整備事業

米山地区公共施設複合化整備に向け、老朽化した米山総合支所等の解体工事を行うもの（1億5192万円）

#### ・結婚新生活支援事業

少子化対策、人口減少対策として、新婚世帯に住居の購入、住宅の賃借、引越しに係る費用を最大30万円補助し、新生活の経済的負担を軽減するもの（807万円を追加）

#### ・電気自動車等導入支援事業

2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、電気自動車を導入する市民および事業者に対し、導入費用の一部を補助するもの（160万円を追加）

#### ・製品プラスチック回収事業

「プラスチック資源循環促進法」にもとづき、6年度から製品プラスチックの回収を行うための回収用コンテナを200個購入するもの（172万円を追加）



### こんな質問がありました

**Q** 解体工事に要する経費をなぜ当初予算ではなく補正予算で計上したのか。

**A** 8年4月複合化施設の供用開始を目指し建設を進めていく中で庁舎の解体があり、建設スケジュールに影響がないよう計上した。

**Q** 建設スケジュールがあるならもっと早くに解体工事費を予算計上するべきではないか。

**A** 解体計画もあるが、アスベスト調査が必要になったことや、6年4月から建設現場の働き方改革として週休二日制も本格化していくことを考えると、工期や工程の前倒しが必要となるため今回計上した。

### ■ その他の主な議案



\* 議案第138号～162号 指定管理者の指定について  
**令和6年4月1日からの指定管理施設25施設**  
令和6年3月31日の指定管理期間満了に伴い、地方自治法および各施設の設置条例の規定により、その管理を行わせる団体を指定するものです。



### ■ 条例の改正



\* 議案第136号  
**登米市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について**  
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準（平成26年内閣府令第39号）の一部改正に伴い、読替規定の見直しなど所要の改正を行うものです。

### 【12月特別議会】年内中に給付できるよう特別議会を開会し、審議しました。



\* 一般会計補正予算（第7号）  
**・電気・ガス・食料品等価格高騰支援給付金事業**  
物価高騰による負担を軽減するため、特に家計への影響が大きい低所得世帯（次の①～③のとおり）に対し給付金（1世帯当たり7万円）を支給し、生活の支援を行うものです。  
① 住民税非課税世帯  
本年度すでに実施している「電気・ガス・食料品等価格高騰支援給付金事業」により、3万円給付を受けている世帯  
② 住民税非課税世帯  
3万円の給付は受けてないが、住民異動等により基準日において世帯全員の令和5年度住民税均等割が非課税である世帯  
③ 家計急変世帯  
予期せず令和5年1月から12月までの間に家計が急変し、住民税非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯

### ■12月定期議会審議結果(意見が分かれた案件について掲載しました)

議員名	採 決 結 果																										賛 成	反 対	議 決 結 果
	1 熊谷康信	2 浅田琢哉	3 遠藤真理子	4 伊藤善博	5 鈴木実	6 永島順子	7 首藤忠則	8 曾根充敏	9 佐々木好博	10 須藤幸喜	11 岩淵正弘	12 佐藤千賀子	13 熊谷和弘	14 日下俊	15 佐々木幸一	16 工藤淳子	17 武田節夫	18 岩淵正宏	19 中澤宏	20 及川昌憲	21 伊藤栄	22 田口政信	23 相澤吉悦	24 八木しみ子	25 氏家英人	26 関孝			
議案第137号 登米市建設計画の変更について (熊谷康信議員ほか4名の修正案)	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	6	18	否決
議案第137号 登米市建設計画の変更について (永島順子議員ほか4名の修正案)	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	欠	×	×	○	×	○	×	×	6	18	否決	
議案第137号 登米市建設計画の変更について (原案)	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	×	○	×	○	○	13	11	可決	
議案第159号 指定管理者の指定について(米山体育館)	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	4	可決	

※採決結果欄 (○)は賛成、(×)は反対または賛成しなかったもの、(欠)は欠席。

### 問 人口減少対策について

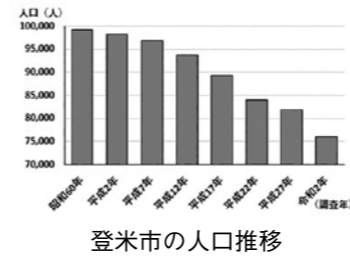


相澤吉悦 議員

#### 答 持続可能なまちづくりを推進

9町が合併し、登米市が誕生した時の人口は、約9万1千人であったが、現在は約7万4千人となっている。今後、人口減少に伴う人手不足の深刻化が見込まれ、あらゆる産業分野に影響を及ぼすと思う。このことから、更なる人口減少対策を講じるべきである。

少子化対策としては、誕生祝金や出産・子育て支援金の支給、医療費助成等により経済的支援を図るなど、切れ目のない支援に努めてきた。更なる移住定住施策の推進や雇用の創出に努め、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを推進していく。



登米市の人口推移

### 問 市民を孤立化させない取組は

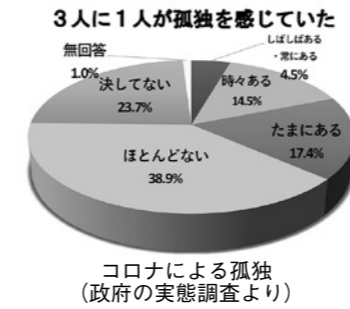


佐々木好博 議員

#### 答 地域の繋がりを活かす取組を実践

今年5月8日から新型コロナウイルスが感染症分類で5類相当とされたにも関わらず、依然マスクも外せない状況が続くなど、通常の生活が取り戻せていない。住民同士のコミュニケーション不足が市民を孤立化させていないか。

新型コロナウイルス感染症の影響によりさまざまな制限が実施され、社会的な孤立や孤独の問題が深刻化してきていると認識しており、高齢者や子育て世代など、孤立化させないための支援に取組んでいる。



コロナによる孤独 (政府の実態調査より)

### 問 パートナーシップ制度導入求める

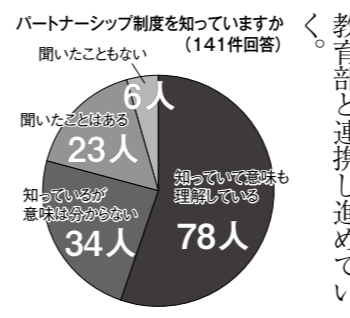


遠藤真理子 議員

#### 答 多様な性の情報発信、調査研究する

パートナーシップ制度を導入することで、性的少数者の理解増進につながる。同性婚の法改正に向けた地方からの声になる。仙台市に続き、栗原市も来年度中の導入を決めた。本市でも導入を進めていただきたいと思うのだが。

導入自治体は、それに至るまでの活動や経過を踏まえた中で導入を決めたものと捉えている。本市としては理解促進に向けた啓発や人権を守る取組に重点を置きながら、他市の先行事例などの収集に努めていきたい。



パートナーシップ制度を知っていますか (141件回答)

### 問 観光大使の委嘱で魅力発信を



熊谷和弘 議員

#### 答 検討し、更なる充実に努める

観光大使とは、「観光地の振興のために観光地の象徴的存在として広報活動に携わる人のこと。また、その地位・称号のこと」とある。

本市には現在、観光大使は不在であるが、令和元年に「とめふるさと大使」第1号として委嘱したのが世界的建築家として活躍中の隈研吾氏である。しかしながら、「とめふるさと大使」は隈研吾氏1人だけである。

近隣自治体の主な大使を紹介すると大崎市では、大崎市長古川出身で歌手のさとう宗幸さん、第69代横綱白鵬さんなど35名。栗原市では、栗原市若柳出身で脚本家、監督、俳優の宮藤官九郎さん、元プロ野球選手山崎武司さんなど19名である。



### 問 要支援者マニュアルの具体的な支援を



工藤淳子 議員

#### 答 避難支援関係者と連携し取組む

「避難行動要支援者マニュアル」が作成されているが、要支援者に対して、誰が、どのように支援するのか具体的にない。「支援をお願いしたい」と同意の名簿を提出しているのに、10年以上たっているのに、いまだに誰も声掛けに来ていない」との不安の声が多く寄せられている。要支援者への働きかけは、

毎年、名簿の更新を行い、平時からの見守り活動など、避難支援関係者と連携を図りながら取組んでいるところである。

「とめふるさと大使委嘱状交付式」の様子

### 問 方針転換について説明すべきでは



熊谷康信 議員

#### 答 市民説明会でしっかりと行う

公約で「新庁舎建設白紙撤回」をうたったにもかかわらず、(仮称)地域交流センターに本庁舎機能を付帯するということが矛盾ではないか。

1期目はその公約をしっかりと果たした。2期目については、所信表明で中心市街地の活性化を挙げている。

再選前には67億の庁舎建設に反対して、今およそ2.5倍にもおよび事業を推進する理由は、合併特例債という財源だけでは不十分だと考えていたが、このたび「都市再生特別措置法」が改正となり、国の補助金が得られることが大きい。



中江地区の浸水被害

問 通学の安全に配慮するべきでは



答 予算措置も含め、頑張りたい



曾根充敏 議員

問 さらなる通学路の安全確保にどう配慮するの

答 通学路等安全対策推進会議を設置し、関係部署と合同点検を実施しながら、対応している。

問 子供たちが抱く通学に対する不安はどこに集約し、庁内共有しているのか。

答 教育委員会が把握し、道路管理者などと共有している。

問 毎年のように通学路の安全確保が訴えられている。得た情報が施策に生かされていないのでは

答 適正に予算化し進めている。出来るところからしっかりとやりたい。

問 施策に対する予算が足りないと感じる。子供たちの要望に「しっかりと



通学路のさらなる安全を

問 子供の夜間救急について



答 石巻市夜間急患センターで対応を



佐藤千賀子 議員

問 本市では、昨年10月に子育て条例を施行した。条例には、子供一人一人が、かけがえのない存在であり、登米市の宝とうたっている。

答 ガイドラインを改めたい。

問 「公の施設にかかる指定管理者制度の運用に関するガイドライン」と合入れないのではないか。

答 石巻・登米・気仙沼医療圏における休日夜間の小児救急体制については、石巻市夜間急患センターに東北大学病院などから小児科医が派遣される形で運営されており、本市をはじめ3市4町が



元気で七五三

問 市庁舎建設反対の旗を降した理由は



答 庁舎の長寿命化は無理と判断したため



首藤忠則 議員

問 一般論として、選挙公約についてどのように考えているか。

答 候補者が当選した後、実現すべき政策として、有権者に向けて表明する約束である。

問 地方自治体における二元代表制の意義は。

答 ともに選挙で選ばれた市民を代表する市長と議会が互いに緊張関係を保ちつつ、対等な立場において議論を重ねながら、両輪として、市政発展のために取り組むことにあると捉えている。

問 正式名称は、いつ決定されるのか。

答 現在、選定方法や選定期間を決定していないが、市民から親しまれる



現在の旧庁舎

問 入札での市内企業優先の考えは



答 市内企業優先の取組を行っている



岩瀬正弘 議員

問 公共事業が減少し、市内企業の経営が苦しくなっていると感じる。

答 企業の入札参加申請時に、当該企業の経営分析を行っているか。

答 入札参加申請時の企業情報は請負工事金額の範囲を定めるためのもので、経営状況の分析は行っていない。

しかし、公共投資の減少により建設業者が厳しい状況にあると認識している。

問 登米市指名競争入札参加者指名基準第2条第2項について、「市内に本店及び支店を有する者」から「市内に本店を有する者」に改正する考えは。

答 入札案件などによるが、現行の基準でも市内に本店を有する企業のみ

で指名基準を満たしている。

市内に支店を有する企業（以下「準市内企業」という）も災害協定を締結するなどしていることから、現行の基準で運用していく。

問 準市内企業について、市税を納めていること、市内に移住した者を一定数以上職員として雇用していることなどの条件を付す考えは。

答 入札案件などによっては、県内に本社を有する企業に限定するなどの条件を付けている。

準市内企業も雇用の場になるなどしていることから現在のままで進めるが、市内企業の受注機会確保にも努めていく。

入札書在中  
工事番号 第000号  
入札書

問 農業予算強化を目指せ



答 市長として全力尽くす



鈴木 実 議員

問 基幹産業である農業は、従事者が年々減少傾向にある。国の支援が必要だが、農業関連予算は減少の一途であり、今般の世界情勢も踏まえ、穀倉地帯の市長として、国への農業予算の配分強化をどう求めているか伺う。

答 農林水産大臣が本市を訪れた際に、農業の現状と、農家が安心して農業を続けられるよう強力な支援の要請をした。県選出国会議員に対しても、国策として支援策を要望。また、関係市町及び土地改良区と協議会を設立して要望するなど、あらゆる手段で続けている。地域の現状と農家の声を強く届け、農業を守り抜く。

問 国の補正予算で示された「重点支援地方交付金」における「推奨事業メニュー」について伺う。

答 交付限度額は、2億2千

水田作経営の収支		2021年
農業租収益	千円 ①	3503
農業経営費	千円 ②	3493
農業所得	千円 ③	10
自家農業労働時間	④	1005
時間当たり農業所得	円 ③÷④	10

2021年の稲作時間給は10円  
(農水省「営農類型農業経営統計」より)



永島順子 議員

問 移住者のターゲットをどこに置いて、どういう戦略を進めるのか。

答 過去2年間、30歳代までの割合が半数以上となっており、若者や子育て世代をターゲットにして各種施策を推進している。また近年では、空家情報バンクを活用して、田舎暮らしを希望するシニア世代も増えており、そちらの方にも選んでいただけるよう取組を進める。

問 都市部から地方自治体に住民票を異動して活動する地域おこし協力隊は、全国的に年々増えている。他市の例にあるように、民間団体を受入先とする考えはないのか。

答 地域活性化やにぎわい創出のために、地域のNPO法人などを受入先とすることも選択肢の一



地域おこし協力隊による空き店舗活用が進む栗原市岩崎六日町通り商店街

問 学校再編に伴う登下校対策は

答 安全確保・経費削減を協議検討



岩淵正宏 議員

にした学校運営を目指している。

問 東和から近隣の中学校は登米中、中田中であり、通学距離は錦織小から中田中まで4.8km、米谷公民館からは5.6kmで自転車通学可能。登米中までは錦織から13km、米谷からは10kmである。自転車通学できる範囲での統合は考えられないのか。

答 再編構想は決定したものはなく案として示した。町域を超えた新たな枠組みも検討している。町域を超えないと

各町域で同日に秋祭りが開催されたが問題

問 市と町域主催の秋祭り日程調整はどのように。

答 各実行委員会を組織し企画立案し日程調整において実施主体で判断。



7年度から、東和小学校と登米中学校舎

問 本市秋祭りの活性化について

答 失われた賑わいの回復に向かう



日下俊 議員

う部分とマンパワー不足であった。

問 支所単位の秋祭りに飲食関係の出店が極端に少なかったが保健所の支所化が影響していないか。

答 支所化によって従前と業務内容はかわっていないので準備期間や周知の問題ではないかと思う。

中田庁舎の屋外ステージが使用不可になり屋外駐車だが改修は

問 令和6年度の予算に計上し、早期の修繕に努め施設の適正な管理をする。



中田庁舎の屋外ステージ

議会の動き

Table with columns for dates and council activities. Includes items like 10月2日 広報広聴委員会、11月1日 埼玉県議会、12月1日 議会運営委員会.

総務企画常任委員会行政視察報告 (11月30日)

東北電力女川原子力発電所 (11月30日)

6年5月の原子力発電再稼働に向け、安全対策工事を着実に進めているとの説明があった。原子炉建屋については、新たな科学的・技術的知見の継続的な収集・分析を踏まえ、部材追加による強化、配管や電線管サポートの追加など、耐震安全性を高める工事に重点を置いていた。

石巻広域消防本部 (11月30日)

石巻地区広域行政事務組合、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合及び本市の3消防本部により、住民サービスの向上、災害対応力の強化を目的に、8年度の共同運用開始に向け、高機能共同消防指令センターを整備している。

委員会報告

一方、女川町中心部から発電所に向かう道路は、一部改良工事が施されているものの、勾配、カーブともに急な箇所が多数あることから、緊急時の早急な対応を考慮し、さらなる対策の必要性があるのではないかと感じた。



消防指令センター 配置予定場所

産業建設常任委員会

放射性物質に汚染された農林業系廃棄物(一般廃棄物)の処理について (9月12日)

宮城県より放射性物質に汚染された農林業系廃棄物(一般廃棄物)の県外処理に係る情報提供を受けたことから、本市での対応を検討するに当たり、執行部より議会に対し意見を求められた。

県外処理の内容

- ・処理先の情報は一切公表しない
・運搬業者は搬出自治体で確保する
・焼却等による処理(再資源化も含む)
・財源は国庫補助の対象となる見込み

結果

県外搬出は行わず、本市が現在実施している土壌還元処理を遂行していくべきとした。

# 教育民生常任委員会

特集 定期議会 一般質問 委員会 Voice

## ICT教育 ・視聴覚センター

（11月2日）  
市内小中学校のICT活用研究部員によるICTを使った授業づくりの実践研修会を参観し、現地調査を実施した。教育情報化（DX化）推進の現状などについて、視聴覚センターで説明を受け、ICT活用研究部員による効果的な活用例などの研修を参観した。

## ・佐沼小学校

（11月22日）  
登米市教育支援センター授業力向上研究部による「第3回授業づくり研修会（外国語）」について、授業へのタブレット活用などの状況を確認するため、現地調査を実施した。

## 小中学校の再編について教育委員との意見交換会

（11月22日）  
教育委員会教育委員とICT教育や小中学校再編について、それぞれの意見や考え方を共有するため、意見交換会を実施した。

## 子育て関連施設の利用状況についての現地視察（市内2施設）

（11月30日）  
民間が運営している市内の子育て関連施設「放課後児童クラブぴいすんち（南方町）」および「認定こども園森のくまさん（中田町）」について、市担当者の案内のもと、現地調査を実施した。



認定こども園森のくまさん

## その他の調査

- ・病院事業中長期計画（第4次病院改革プラン）について
- ・米山地区公共施設複合化整備事業について
- ・（仮称）登米市人権擁護に関する条例について

# 行政視察報告

（10月18日～20日）

## 神奈川県南足柄市 子育て支援拠点施設「ここっ」と

（10月18日）  
民間施設であった商業施設を改築し、駅前に整備されたその施設には、令和5年からこども育成課とこども支援課からなる市職員37名のこども未来部が設置されており、子育て支援にあたっている。

本市での今後の子育て支援の取組の方向性として大いに参考にすべきではないだろうか。また、施設自体が商業施設であったため、本市での取組の際は自然環境を生かした施設の在り方を検討すべきと考える。



## 神奈川県大和市 文化創造拠点シリウス

（10月19日）



6階各フロアでテーマ別の書籍が置かれ、保育園も併設され、幼少期から自然に本と親しめる環境が作られていた。交通機関などの利便性も高く、市内だけでなく、市外の利用者も多く高い利用率とことだった。

施設内には、コーヒーショップやコンビニエンスストアなど10店ほどの企業が入店しており、足を伸ばしやすいう環境だと感じるとともに、図書についても、1階で全ての図書の貸し借りができるなど、非常に利用者目線に立った図書館であった。

## 埼玉県戸田市 ICT教育の取組

（10月20日）

産学官と連携し、最先端の知のリソース（情報・知識）などを教室に入れることで働き方改革に直結していた。学校だよりをPCで発信するなど、教員の在校時間は5年前と比較し30%の削減を達成されている。

戸田市教育委員会は、内閣官房IT室およびデジタル庁を経験した横田氏を招き入れ、次長兼教育政策室長に就任している。本市でも教育にかける本気度を出し、ICT教育を強力に推進するため、長けた人材を登用することも必要ではないだろうか。



# 議会運営委員会行政視察報告

（11月20日～21日）

## 石川県加賀市 市民に開かれた議会運営

（11月20日）

「開かれた議会」として市議会だよりのほかにSNSで情報発信しており、本市では採用していないユーチューブを活用することで、検索する手間を軽減でき、多世代へ広く周知されている。

また、「市民が参加する議会」としてこれまで、女性議会、小学生議会、中学生議会、高校生議会を、議会や市政への関心度の向上、児童生徒、女性の視点からの意見を市政へ反映することを目的に開催していた。

各議会の提案内容をもとに、委員会での議題として取り上げることで市民の関心が高くなり、多様な情報発信で市民に広く周知できる一連の流れは、本市としても今後考慮すべきことと感じた。

## 富山県南砺市 議会の活性化

（11月21日）

議会改革のひとつとして



「事業評価」があり、次年度予算へ反映させる提言の取組を議会として定着させていた。

事業評価から市長へ提言書の提出までを年間スケジュールに組み込み、システム化することで可能となり、3つの委員会より提言書を提出され活性化が図られていた。

今回学んだ内容を参考に、適正な提言を今後もおこなえるよう、議会として推進力を高め対応したい。

# 議会改革推進会議行政視察報告

（11月9日～10日）

令和5年度議会改革推進会議の活動方針として、「議会基本条例の全体共有と手法の確立」を掲げ、課題解決に向けた対策を絡めたサイクルの形成を主たる活動方針として、行動している。これまでに委員間の情報共有を終えており、現在は課題解決に向けた行動を考察する段階にある。今回はその取組の実践を学ぶ機会を得た。

## 兵庫県加東市議会 議会基本条例の検証と見直し手法

（11月9日）

加東市議会においては、議会基本条例の検証にあたり議員アンケートに加えて、無作為抽出での市民アンケートを実施している。

その手法については、議員の任期とリンクさせ改選直後に議会基本条例の研修を行い、2年後に検証を行っている。検証にあたっては、「評価検証特別委員会」を設置して実施しており、本市のような常設の委員会を設けての議論とはその趣を異にする。アンケートは市民目線での

「議会への関心」や「議会広報への関心」、「定数・報酬」などオープンな問いかけになっている。その手法には大所高所から、議会が市民からどう思われているかを考察したものと認識した。

このような視点を市民アンケートに求め、自らは虫の目でつぶさに基本条例の理念と行動のギャップを測っており、まさしくわれわれにはなかった手法と効果に「目から鱗」の思いで学ばせてもらった。

標として掲げ評価を行う。この到達目標は、都度検討されているところであり、一定の水準に達したとの評価を得た後は、新たな目標を掲げている。そのためには条例の解釈を変更することも辞さないものであり、常に改革意識を高める行動を実践している。

福知山市議会は「開かれた議会を目指して」の掛け声の下、特にさまざまな市民参加の推進が大きく評価されている議会である。

その議会基本条例の検証では

- ① 情報公開の推進
  - ② 市民参加の推進
  - ③ 議会の機能強化
- を目的別に分類し、それぞれに今後のあるべき姿を到達目



# シリーズ 中心市街地等活性化特別委員会 レポート2

## 5つの基本方針

- 基本方針1 利便性が高く、誰もが行きたくなる施設
- 基本方針2 まちの顔として、魅力の向上と多くの人々が出会い学びと交流が生まれる施設
- 基本方針3 市民の生活を支え、安全で安心して利用できる施設
- 基本方針4 環境に配慮し、機能的で将来に負担をかけない施設
- 基本方針5 施設は集約型又はエリア内分散型、建設場所は迫中江中央公園付近

## 協議の取りまとめ

1. 建設場所は中江中央公園付近	2. 施設は、集約型またはエリア分散型
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①立地適正化計画で中江中央公園付近が都市機能誘導区域に位置づけられている。</li> <li>②排水は、県と市の取組みにより大幅に改善される見通しで、浸水リスク軽減を図るために、様々な検討を重ねる。</li> <li>③他候補地も検討したが課題が多く、12年度までの施設完成(または、事業完了)は難しい。</li> <li>④事業推進の有利な起債、補助金が見込める。</li> </ul>	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①一体的に整備することで、市民が利用しやすく、にぎわいが生まれる。</li> <li>②集約化することでコンパクトな施設建設が可能となり、事業費の抑制にもつながる。</li> </ul>

## 基本構想・基本計画

公募型プロポーザルで基本構想・基本計画の策定を委託する事業者として、「シアターワークショップ・佐藤総合計画共同企業体」が選定された。

## 先進地事例研修 (大崎市役所)

- 庁舎建設が明確になっており、基本構想が自前で策定された。
- 市民の意見や希望が計画に取り込む仕組みがつくられている。
- コロナ禍で建設が延長されたが、経費削減努力がとられている。

### 【建設までの経過】

- H26年 12月 本庁舎等建設推進本部設置
- H28年 8月 推進委員会職員ワーキンググループ
- H29年 3月 大崎市議会市役所建設庁舎特別委員会を設置(11人で構成)
- H29年 4月 大崎市本庁舎建設プロジェクトチームを設置(副市長を含む13人で構成)
- H29年 9月 基本構想策定(自力策定)
- H30年 1月 ワールドカフェ、高校生タウンミーティング
- H30年 3月 基本計画策定
- H31年 4月 市民説明会 にぎわいシンポジウム

- R元年 11月 基本計画完成
- R2年 9月 実施設計完成
- R4年 11月 竣工
- R5年 3月 運用開始



## Voice

# 次世代×議会

### 子供議員紹介

11月11日に行われた子供議会2023(とめ青年会議所主催、登米市議会、登米市教委共催)に、今年も市内各中学校から10人の生徒が参加しました。参加した子供議員の皆さんから話を聞きました。

- 及川 美羽さん
- 佐竹 柚姫さん
- 阿部 尊さん
- 千葉 萌生さん
- 原谷 小夏さん
- 佐々木 美穂さん
- 山内 元陽さん
- 千葉 雄飛さん
- 星 萌花さん
- 高橋 かりんさん



司会 皆さんこんにちは。皆さんの中で自分から子供議会への参加に立候補した人はいますか。

及川 はい。

司会 先輩はアドバイスしてくれましたか？

及川 去年参加した先輩は卒業して聞けませんでした。が、考えていたよりも面

白いというか、いい意見も言えたと思うし、しっかり登米市とも向き合えた気になれたので、こういう仕事をやってみたいと思いました。

司会 先輩から話を聞いてきた人はいる？

高橋 はい。「行ったらいい経験になるよ」って後押ししてくれました。

司会 実際に参加してどうでしたか。

高橋 意見を出すことで登米市についての理解が深まりました。

司会 ほかのみんなはどうして参加したの？

一同 学校から。

司会 先生に言われた。担任から。お前しかいないと。半ば強制です(笑)。

司会 議会のイメージはどうでしたか。原谷さんは通学路のさらなる安全を訴えたけど、回答良かったよね？

原谷 そうなんです。今まで通りやるとしか言ってくれませんでした。

司会 図書館のこともだれか聞いてたよね？

佐々木 なんか、モヤっとした答えしかなかった…。

司会 子供議会に参加した感想を聞かせてください？

阿部 登米市の様々な問題などを聞いて、よかったです。感じました。

山内 すごく緊張して聞こうと思ったこともなかなか聞けなかったのですが、登米市について「もっとこうしたらいいのにな」と自分の中で考えられ、よかったです。

千葉 登米市についての考えが自分の中で思いつかなかったのですが、みんな凄いなと思いました。

星 一人では絶対解決できない問題を訴えられて、「登米市を創る」ことは良いことだと思えました。



佐竹 今回の議会を通じて登米市について色々なことを知ったし、いい機会になったと思います。

司会 また、子供議会に参加したいやりたいてって人は？

及川 はい。

一同 頼まれたら、またやってもいいかな(笑)。

司会 子供議会に参加された皆さん大変ありがとうございます。





# 議会でも市民歌斉唱 豊里小・中学校 4年生のみなさん

登米市議会では、その年最初の議会で市民歌を斉唱しています。令和6年は、豊里小・中学校の4年生42名の皆さんに合唱していただきました。

(1月15日)

## 議会モニター募集

議会では「市民と共に開かれた議会づくり」を目指し、議会運営に関して意見を寄せていただくため、議会モニターを募集しています。

### 【内容】

▼議事堂やインターネット配信での議会傍聴

▼議会運営や議会だよりなどへの意見

▼議会との意見交換会への出席

▼議会アンケート調査への回答

### 【定数】

▼20人以内

### 【任期】

▼委嘱日から令和7年3月末まで

### 【応募資格】

▼18歳以上で市内在住の人、議会運営に関心を持つ人、議員及び常勤の公務員でない人

【応募方法】申込書に必要事項を記入し、議会事務局（市役所迫庁舎3階）に持参または郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれか

【申込用紙】議会事務局に備え付けのほか、議会ホームページからダウンロードできます。

### 【募集期限】

3月11日(月)当日消印有効

### 【申し込み・問い合わせ】

議会事務局

〒987-0511

登米市迫町佐沼字中江2-16-1

TEL 0220 (22) 1913

FAX 0220 (22) 9225

☐ gikajimu@city.tome.niyagi.jp

## あとがき

皆さんが手に取り、読んでみたくなる市議会だよりを目指し、リニューアルに向け取組んでおります。今回は文字フォントや表現およびレイアウトに少し手を加え、議会で審議した内容をわかりやすい記事にするなど、16ページにまとめました。

何かを「変える」時は、いろいろな意見があるものです。より良い市議会だよりになるよう皆さんの声を聞き、編集する際はよく話し合い、多くの

議長	岩淵 正宏
副議長	伊藤 善博
委員	佐々木好博
委員	伊藤 善博
委員	熊谷 康信
委員	浅田 琢哉
委員	遠藤真理子
委員	鈴木 実
委員	永島 順子
委員	曾根 充敏
委員	岩淵 正宏

## 議会からのお知らせ

### 2月定期議会

#### 開会中

本会議はインターネット中継でご覧いただけます。なお、ご不明な点などがございましたら議会事務局までお問合せください。

#### スマホで！



議会中継



facebook